

おしえて
満田先生

学童期検査について

満田直美先生
高知大学医学部附属病院
小児科医師

2歳男の子と
0歳女の子の
子育てに奮闘中です



学童期検査では、身長・体重などの体格測定に加え、高知独自の追加調査に同意していただいた方を対象に、血圧測定や血液検査を行っています。血液検査ではコレステロールや肝機能、腎機能など小児生活習慣病健診と同様の項目を測定します。生活習慣病とは食事や運動、休養などの生活習慣が深く関係しておこる病気のことです。高血圧症や脳卒中、心臓病などが含まれます。

生活習慣病の多くは成人になつてから症状が現れますが、胎児期（さらには胎児になる前の胎芽期）や乳児期の環境が成人期の健康や生活習慣病などの発症リスクに影響を及ぼすとも考えられています。もちろん、乳児期以降の生活習慣も将来の生活習慣病リスクに大きく関係します。体格測定では、身長別の標準体重からどのくらい離れ

ているかで肥満度を算出しています。血液検査では、項目によって多少異なりますが、同年齢の子どもたちの95%が入るとされる範囲が基準値と設定されています。学童期検査の結果が基準値を超えているからといって、必ずしも異常であるというわけではありませんが、基準を超える値がみられた場合は一度かかりつけ医へのご相談をお勧めします。

検査に参加して下さったお子さんと親御さんに感謝いたします。がんばって採血にチャレンジしてくれたお子さんのことをたくさん褒めてあげてくださいね。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、いまだ検査が実施できない状況が続いています。1日も早い事態の収束と皆様の健康をスタッフ一同心よりお祈りしております。

